

校長室から

No.4

平成31年4月19日（金）

職員の校内研修風景

流山小学校では、平成25年度から算数の研究に取り組んでいます。

4月19日（金）、この日は、研究推進委員会の加瀬教諭と長江教諭が企画し、新しく流山小学校に着任した先生方にこれまでの校内研究のあゆみを理解してもらおうと、パワーポイントや研究授業の動画を用意して新任・転任教職員を集めました。

昨年度（平成30年度）の研究主題は、

「協働の素地を養う表現活動の工夫～算数学習を通して～」

研究仮説は、

「『つなぐ』表現活動を工夫することによって、協働の素地を養うことができるだろう」

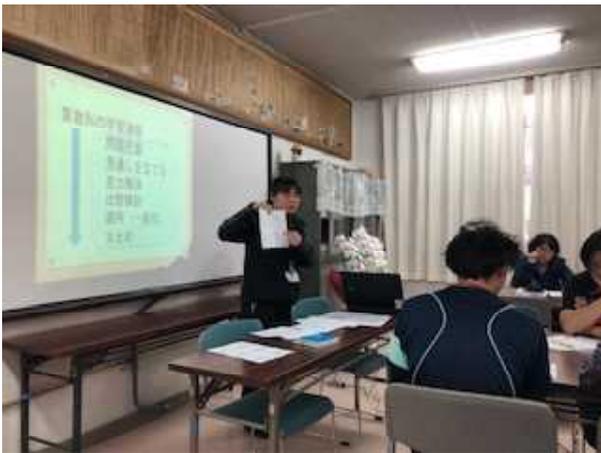
でした。

本校のとらえる「協働」とは？授業のキーワードとなる「つなぐ」とは？について、研究主任から丁寧な説明がありました。

ベースとなることについて、着任したばかりの教員とも共通理解を図った上で、今年度の研究についてこれから全体会を開き、具体的に研究をスタートさせていきます。

子どもたちの学びの質を高めるためにとても重要な校内研修に対する教員の主体的な取り組みを、校長として大変喜ばしく思いました。

子どもたちの成長に負けず劣らず、この流山小学校で教員もたくさん学び合って教員としての資質を高めていきたいと思っています。



これまでの研究のあゆみを説明する
研究主任の加瀬教諭



今年度転任・新任の教員が本校の
研究の経緯を学んでいる姿

